

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都八幡物流センター新築	階数	地上4F,地下0F
建設地	京都府八幡市八幡カイトリ1番1他	構造	S造
用途地域	指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	50 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2020年7月8日
敷地面積	20,032 m ²	作成者	島田 育洋
建築面積	9,972 m ²	確認日	2019年7月9日
延床面積	38,171 m ²	確認者	松澤和浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR-環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を採用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	Q2 サービス性能 給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし。
LR1 エネルギー	断熱性高い材料を使用している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が分離しやすいようにLGSを使用している。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率76%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される